

初回 EAJS 日本会議 2013 年 9 月 28 日、29 日

(日本) 京都大学 文学部

## 講演原稿募集

### 第一回 EIAS 日本会議

会場：京都大学 文学部（日本）

期日：2013 年 9 月 28 日(土)、29 日(日)

事前ワークショップ：京都 日文研、2013 年 9 月 27 日(金)

使用言語：原稿提出－英語、会議開催中－英語と日本語

責任者：前 EAJS 会長フース・ハラルド教授

EAJS 問い合わせ先：[office@eajs.eu](mailto:office@eajs.eu)

原稿応募の締切：2013 年 3 月 15 日（採否通知は 4 月末）

- 会議の講演原稿募集の説明はこちらにお知らせを掲載します  
<http://www.eajs.eu/index.php?id=631&L=1>
- 原稿提出はこちらのオンラインポータルのみから  
<https://www.eajs.eu/index.php?id=635&L=1>

1970 年代より、ヨーロッパ日本研究協会(EAJS)は、3 年毎にヨーロッパ各地の大学で国際的な学術会議を開催してきており、前回のタリン(エストニア)での EAJS 国際会議は、世界各地から 700 人もの研究者が関心を寄せるものとなりました。そして、前回の会員ミーティングで発表されたように、EAJS では小規模な会議を 3 年毎に日本で開催しようとしています。

今回、京都大学文学部が現地での運営主催者として協力を申し出て下さったため、初回の EAJS 日本会議は京都大学で開催することとなりました。さらに、会議の前日、2013 年 9 月 27 日に国際日本文化研究センター(日文研)で行われる事前ワークショップには、全参加者を招待したいと思います。9 月 28 日の夕方には文化イベントやレセプションも予定しています。また、この会議は京都 ISEAS/ヨーロッパアジア・フィールド研究所の後援を受けています。

EAJS は博士課程学生から教授研究者まで幅広い層からの原稿案を受け付けています。会議のテーマは特定されていませんが、特に日本とヨーロッパの相互交流に関するテーマを奨励します。会議は、2 時間毎の各セッションに分かれており、発表は原則それぞれ 20 分までとします。今回の基調講演者には、ロンドン大学アジア・アフリカ研究所 タイモン・スクリーチ教授を予定しています。

**注意事項：**

- ・ 会議中の主な使用言語は英語ですが、発表は、英文での要約を提出していただければ、日本語でも受け付けています。
- ・ 採用された発表者は全員 EAJS 会員でなければいけません。
- ・ 発表者も参加者も、会場までの交通や会議中の宿泊を各自で手配するよう、よろしくお願い致します。JTB トラベルのホームページでは、詳細情報が提供されています。
- ・ 会議への参加費は京都大学の運営費をカバーするだけのものです。

**会議への参加登録**

<b>参加登録正規締切日：</b>	2013 年 4 月 30 日
<b>EAJS 会員の会議参加費：</b>	3000 円
<b>締切以後、または当日現地での会議参加費：</b>	6000 円
<b>京都大学の参加登録ホームページ：</b>	後日お知らせします

*EAJS 会員だけが原稿を応募することができます。何卒ご了承ください。*